

「目的」と「目標」の関係

健康づくり

目的

学習成果

目標

富士山に登る！

近隣の登山に挑戦し、
登山仲間をつくる。

学習成果

目標

1時間山登りをしても、
疲れない体力をつける。

ストレッチで、けがを
しない柔軟な身体づくりを行う。

学習成果

目標

学習成果

目標

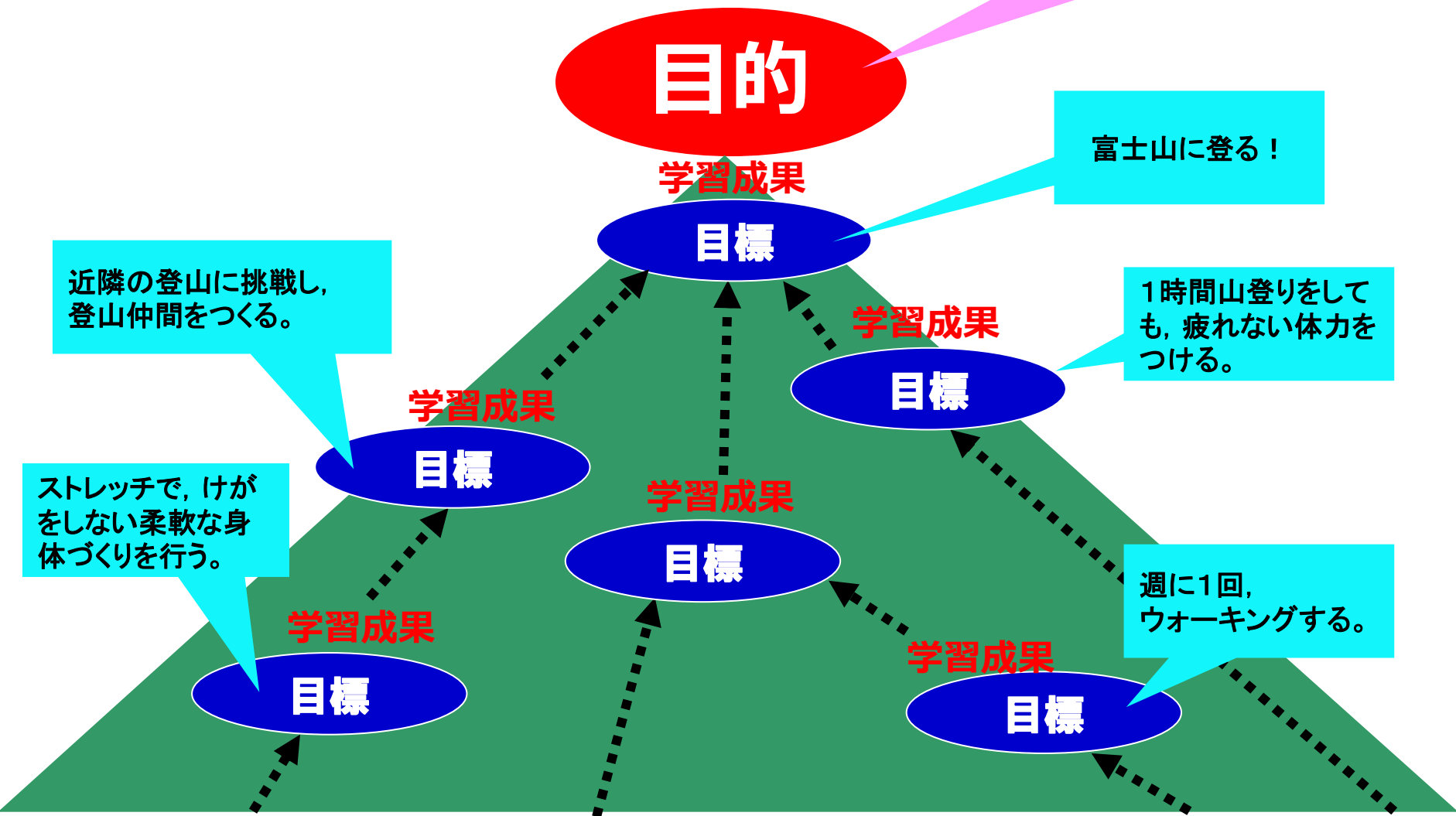
週に1回、
ウォーキングする。

学習成果

目標

学習成果

目標



学習プログラム開発の流れ (PLAN)

シートA (準備シート)

テーマ

①個人の要望

②社会の要請

③地域課題の発見・分析

④学習目的の設定

⑤学習目標の設定

シートB (個別事業計画)

- ・プログラム名
- ・対象・定員
- ・参加費
- ・事前に必要な知識や準備物
- ・留意点
- ・学習プログラムの展開
- ・評価(振り返りの方法)

展開

回	学習 テーマ	各回の学習目標 (○)と学習内容	学習 方法	学習 場所	学習 資源

シートC (各回の実施計画)

- ・準備物
- ・会場図
- ・タイムスケジュール

実施計画

時刻	内容	留意点

(例) 家庭教育支援をテーマとして・・・

① 個人の要望

- ・ ママ友がほしい。
- ・ 子育ての悩みを相談したい。

② 社会の要請

- ・ 家庭の教育力の向上。
- ・ 地域で子供を育てる環境作り。

③ 地域課題の発見・分析

- 子育てをしている親の育児不安を解消するために、地域ぐるみで子育てを支援する必要がある。
- 子育て中の親同士のつながりが十分に築けていない。

④ 学習目的の設定

- 子育てをしている親の育児不安を解消するために、育て中の親が、地域におけるネットワークを形成する。

⑤ 学習目標の設定

- ◎ 親同士・親と子育て支援者の交流を通して、いろいろな子育ての方法があることを知り、一人で抱え込まない育児の楽しさを実感する。
- ◎ 子供と一緒に笑ったり、喜んだりして遊ぶことにより、これまで以上にお互いの気持ちを伝え合えるようになる。

学習プログラム開発におけるPDCAサイクル

PLAN

学習ニーズの把握や対象の分析
企画立案

(目的, 目標, 対象, 学習内容・方法, 時期,
会場, 回数等を定める)

DO

実施・運営

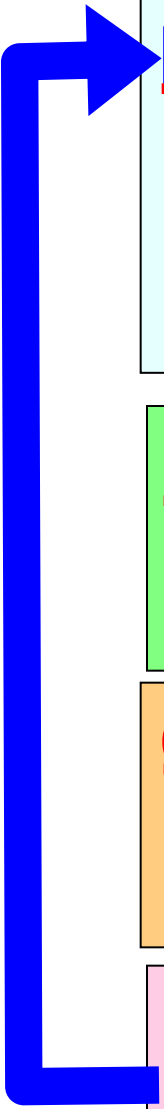
(会場・設備・資料等準備, 役割分担確認 等)

CHECK

学習プログラムの評価,
学習成果の評価 等

ACTION

学習プログラムの改善, 一般化



学習プログラムを評価する意義

- PDCAサイクルの最終ステップ（**事業の改善・充実**）
- 次年度計画の**説明根拠**となる資料
- **中長期的**な見通しのなかでの事業運営
（人材育成，地域づくり等の事業は短期では達成しづらい）
- **アカウントビリティ**の必要性

- **学習者自身が**，達成感・充実感を確認する
 - ・ 意識づける = **「振り返り」**の**教育的な意義**
⇒ 学習成果の活用・還元

学習成果を「見える化」し、
「次へつなげる」ための活動